



男女ともオーストラリア勢のサラ・フィンとジェイソン・ショーティスが優勝

今泉奈緒美が2位、河原勇人が3位に

2005 アイアンマンジャパントライアスロン五島長崎は、5月22日（日）、午前7時に五島市のさんさん富江キャンプ村前のビーチをスタートし、福江島全島を舞台に展開された。

スタート時の気象は、雨。気温 15.2 度、湿度 88%、東の風 2.4m/s と、5 回目の開催となる今回で初めてのウェットコンディションとなった。最終エントリーは、811 名。内外国選手は 75 名となり、外国選手の割合が過去最高の大会となった。

浜から沖へのコースを 2 周回する 3.8km のスイムをトップであがったのは、シドニー・オリンピックとアテネ・オリンピックに日本代表として出場した西内洋行（福島県協会）。続くのは、ピーター・クロプコ（ハンガリー）に竹内鉄平（三好トライアスロン倶楽部）。

西内はそのまま、バイクを快調に飛ばしはじめたが、昨年優勝のクロプコがじわじわと追い上げを開始。バイク序盤の 50km 付近で西内をパス。そのまま独走を続けるかに思えたが、バイク 120km 付近で、ジェイソン・ショーティス（オーストラリア）に追いつかれると、あっけなくトップの座を明け渡し、そのままバイクを終えた。

ランでは、逃げるショーティスに追うクロプコと立場が逆転。ショーティスがそのまま逃げ切り、8 時間 41 分 17 秒の大会新記録で優勝した。レース後ショーティスは、「五島長崎は 2 度目の出場。'02 年のときは、バイクからランへとリードしながらラン終盤で田村嘉規（西京味噌）に逆転され、悔しい思いをした。今回は、ランにトップで出たら絶対負けない決意で走った」と、雪辱の喜びを語った。

2 位は 8 時間 51 分 52 秒でクロプコが入り、3 位にはバイクで精彩を欠きながらもランで盛り返した河原勇人（日東紅茶 TEAM KEN'S A&A）が 8 時間 57 分 38 秒でフィニッシュした。昨年はハワイ行きの切符を逃した河原は、「3 位に入れたことより、自力でハワイの出場権を獲得できたことがうれしい」と、コメントした。

4 位入ったのは、バイクで順位を落としながらランで追い上げた西内。ロングディスタンス日本選手権者で、4 月の宮古島トライアスロン優勝の松丸真幸（チーム・フォード/スペシャライズド）は 6 位に入った。

女子は、若さにものを言わせて今泉奈緒美（チーム VIKING）がスイムをトップフィニッシュ。バイクでも先行したが、ドラフティングのペナルティを 5 分間取られ、首位をサラ・フィン（オーストラリア）に譲った。ランに移っても、挽回できず、ラン中盤で 1 週目の武家屋敷付近では 9 分の差となった。

結局フィンが、9 時間 51 分 56 秒でアイアンマン初優勝。今泉は、10 時間 7 分 13 秒で 2 位に入った。フィンは、オリンピックディスタンスから転向した選手。「初めての五島長崎で初優勝できてうれしい」と素直に喜びを語った。

今泉は悔しさを表しながらも、「ハワイでは、トップテンに入るように調整してチャレンジする」とリベンジを約束した。

3 位には昨年優勝の堀陽子（神奈川県連合）が入った。

このレースの様子は、05 アイアンマンジャパン五島長崎フォトギャラリーでお楽しみいただけます。